

【文化財の宝庫 ^{ちょうでんじ} 朝田寺をご紹介します】

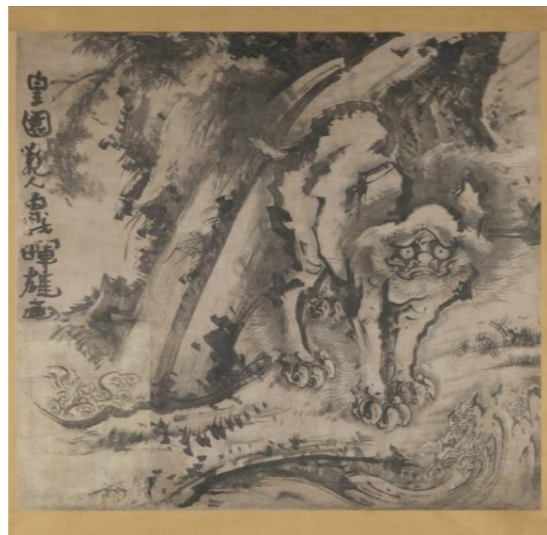
朝田寺は松阪市朝田町にあるお寺で、地元では「朝田の地蔵さん」として知られています。朝田寺には建物や仏像、絵などたくさんの貴重な文化財がありますが、今回はその中の一つ、朝田寺本堂を守るための取り組みについてご住職に紹介していただきます。



(左) 三重県指定文化財 朝田寺本堂 (右) 松阪市指定有形文化財 朝田寺書院



国指定重要文化財
木造地蔵菩薩立像 (傳空海作)



国指定重要文化財
紙本墨画唐獅子図 曾我蕭白筆
附 板絵著色杉戸絵 曾我蕭白筆 8面

【朝田寺本堂について】

朝田寺本堂は江戸時代の慶安5年(1652)に建てられました。その後、安永7年(1778)に本堂を後方に建て増しましたが、その際、本堂が低く見えたのか本堂全体を30cmほどかさ上げしています。そのため、すべての礎石上にそろった四角の御影石が置かれています。昭和54年(1979)には三重県指定有形文化財に指定されました。



【大切な文化財を守るために】

朝田寺本堂が建てられてから370年以上経つことから、昨年、シロアリ防除の専門業者に調査してもらいました。調査の結果、大きな被害はないことがわかりましたが、これ以上被害が大きくなるように、三重県と松阪市の補助金を活用してシロアリ防除を行うことになりました。シロアリは木材を食べるゴキブリの仲間で、光が苦手な暗い場所が好きなので、建物の床下は絶好の繁殖場所となります。建物を支える柱がシロアリの被害に遭うと、柱の中が空洞化し、建物を支えきれなくなってしまいます。そうなる前に今回薬剤をまくことで、シロアリが寄りつかなくなるようにしました。

今後も定期的に薬剤をまいて大切な文化財である朝田寺本堂を後世に残せるよう関係機関と協力しながら取り組んでいきたいと思っております。
(朝田寺住職)



(シロアリ防除の様子)



(地域の方への説明会の様子)